

## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 フジプレミアム株式会社

コード番号 4237 URL <http://www.fujipream.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本實藏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部部長兼IR・広報部長 (氏名) 大川拓志

TEL 079-266-6161

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	16,477	47.6	1,037	55.5	1,035	54.7	572	△9.0
22年3月期第2四半期	11,163	△34.3	667	△11.3	669	△8.7	629	68.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	20.04	—
22年3月期第2四半期	22.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	20,412	7,053	34.2	244.45
22年3月期	15,937	6,774	42.1	234.97

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 6,985百万円 22年3月期 6,714百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	28.3	1,820	28.3	1,800	28.5	990	9.6	34.65

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 29,786,400株 22年3月期 29,786,400株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,211,300株 22年3月期 1,211,300株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 28,575,100株 22年3月期2Q 28,575,100株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高16,477百万円（前年同四半期比47.6%増）、営業利益1,037百万円（同55.5%増）、経常利益1,035百万円（同54.7%増）を計上し、四半期純利益は572百万円（同9.0%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### フラットパネルディスプレイ部門

フラットパネルディスプレイ市場は、エコポイント制度の変更の影響等短期的な変動を繰り返しながらも、3Dテレビや液晶バックライトのLED化等、新技術等を組み込みつつ成長しております。これに伴い、当部門におきましても、ダイレクトフィルターを含むPDP用光学フィルターの受注増加に加え、LCD用加飾フィルターの需要が拡大いたしました。また、昨年より導入を図っている新型生産ラインの本格稼働により、急激な受注増加に臨機に対応したことで、堅調に売上を伸ばし、業績の向上に貢献いたしました。

この結果、売上高14,983百万円、営業利益953百万円となりました。

#### クリーン・エコエネルギー部門

当部門につきましては、昨年に引き続いて、国内住宅向けに太陽光発電システムの受注が増加したことに加え、スクール・ニューディール政策における学校への太陽光発電システムの導入が業績の向上に貢献いたしました。今後は、現在取り組んでいる自社構築による新型生産ラインが稼働予定であり、より競争力のある製品の供給を開始し、販売量の拡大を図ってまいります。

この結果、売上高1,494百万円、営業利益62百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が20,412百万円となり、前期末比4,474百万円の増加となりました。主なプラス要因は、現金及び預金の増加1,143百万円、受取手形及び売掛金の増加3,689百万円等であり、主なマイナス要因は、商品及び製品の減少338百万円等であります。

負債は13,358百万円となり、前期末比4,196百万円の増加となりました。主なプラス要因は、支払手形及び買掛金の増加2,780百万円、長期借入金の増加1,631百万円等であり、主なマイナス要因は、短期借入金の減少62百万円、未払法人税等の減少13百万円等であります。

また、株主資本は利益剰余金の増加286百万円により6,980百万円となり、純資産は7,053百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績結果は、平成22年5月20日に発表いたしました第2四半期連結累計期間の業績予想を上回る差異が発生いたしました。詳細につきましては、本日（平成22年11月5日）発表の「平成23年3月期第2四半期 連結累計期間 業績予想との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

通期の業績予想につきましては、今後の経済動向が不透明であり、受注数量を的確に予測することが困難であるため、現時点における通期の業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ・簡便な会計処理

1. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債については、原則として年度決算と同様の方法によって計算しております。ただし、加減算項目や税額控除項目は重要なものに限定して計算しております。
2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産において、収益性の低下が明らかなものについては、正味売却価額を見積もり、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しております。
3. 一般債権（経営状態に重大な問題が生じていない債務者に対する債権）の貸倒見積高については、貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ・会計処理基準に関する事項の変更

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

#### ・表示方法の変更

（四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,988,947	3,845,683
受取手形及び売掛金	6,927,384	3,238,125
商品及び製品	562,654	901,352
仕掛品	251,144	440,986
原材料及び貯蔵品	375,204	319,264
その他	138,614	118,102
貸倒引当金	△6,232	△6,025
流動資産合計	13,237,717	8,857,488
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,700,273	2,292,357
土地	2,226,490	2,226,490
その他（純額）	2,020,185	2,313,342
有形固定資産合計	6,946,949	6,832,190
無形固定資産		
その他	3,642	3,778
無形固定資産合計	3,642	3,778
投資その他の資産		
その他	228,517	248,474
貸倒引当金	△4,662	△4,662
投資その他の資産合計	223,854	243,811
固定資産合計	7,174,446	7,079,780
資産合計	20,412,164	15,937,269

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,080,039	2,299,468
短期借入金	2,150,144	2,213,092
1年内返済予定の長期借入金	1,503,697	916,579
未払法人税等	409,738	423,118
賞与引当金	25,050	23,847
その他	316,700	424,211
流動負債合計	9,485,370	6,300,316
固定負債		
長期借入金	3,772,853	2,728,821
退職給付引当金	2,920	1,828
その他	97,788	131,360
固定負債合計	3,873,561	2,862,010
負債合計	13,358,931	9,162,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,440,803	2,440,803
利益剰余金	3,403,546	3,116,567
自己株式	△863,833	△863,833
株主資本合計	6,980,524	6,693,544
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,969	9,633
為替換算調整勘定	△3,228	11,112
評価・換算差額等合計	4,740	20,745
少数株主持分	67,967	60,652
純資産合計	7,053,232	6,774,942
負債純資産合計	20,412,164	15,937,269

(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	11,163,428	16,477,620
売上原価	9,926,997	14,864,854
売上総利益	1,236,431	1,612,765
販売費及び一般管理費	569,084	575,016
営業利益	667,346	1,037,748
営業外収益		
受取利息	3,493	3,131
助成金収入	21,827	18,258
保険解約返戻金	—	19,655
固定資産賃貸料	—	12,417
その他	16,974	7,143
営業外収益合計	42,294	60,605
営業外費用		
支払利息	23,720	30,419
為替差損	13,189	—
持分変動損失	—	4,621
貸倒損失	—	20,809
その他	3,395	6,780
営業外費用合計	40,305	62,631
経常利益	669,335	1,035,722
特別利益		
固定資産売却益	—	206
特別利益合計	—	206
特別損失		
固定資産売却損	—	3,508
固定資産除却損	48,781	115,867
特別損失合計	48,781	119,375
税金等調整前四半期純利益	620,553	916,553
法人税、住民税及び事業税	99,399	341,867
法人税等調整額	△105,019	△737
法人税等合計	△5,619	341,129
少数株主損益調整前四半期純利益	—	575,423
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,130	2,693
四半期純利益	629,303	572,730



(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。